

■基本構想(素案)(基本目標以外)に関するご意見

資料1

言及箇所	ページ 番号	キーワード	ご意見要旨	発言/記述 委員	意見 区分
全体	—	「教育」の取り扱い	松山の教育の現状をどう捉えて、どのような子どもを育てるかという考え方どういった子どもを育てるかという視点が弱いという印象を受けた。全体を読んでも、松山市が教育にどのように向き合おうとしているのか、熱意が感じられない。	三浦委員	審議会
	—		子どもの教育に関することが少なく、寂しい。人間を形成するにあたっては、子どもの時から地域の歴史を学んで、地域に恩返しをするという心を育てることが大事だと思う。	久保委員	審議会
	—	「産業」の取り扱い	産業に関しては、「(3)四国における交通や産業の中心としての発展」に書かれているだけである。	門田委員	審議会
			松山市の発展は産業界の発展なしにはありえないが、そのような観点から見ると、産業の取扱が少ないため、加筆してはどうか。	矢田部委員	審議会
	—	合併による広域化を踏まえた「松山らしさ」の打ち出し	松山らしさ一つとして、合併により広域化したということを私たちがどう考えるのかという視点を、もっと盛り込んで良いのではないかと。広域化した松山市の都市像という観点で「松山らしさ」になるのではないかと。	三浦委員	審議会
	—	文章表現	子どもにもわかりやすいものにしたほうがよい。全体的に熟語が多い。もっとわかりやすい表現のほうが市民に伝わる。	高市委員	審議会
	—	「全体」と「個別」のバランス	「地域」をベースにして施策を考えることは必要だが、地域という全体的な視点が強調されすぎると、個々の事情が見失われ、全体性と個別性のバランスが崩れがちになる。そのため、「全ての人々が互いに尊重し合い、自分らしく生きられるような社会」(まちづくりの基本目標(4)健全で豊かな心を育むまち(教育・文化)、P.12)のような表現を入れておくことは必要。	畔地委員	事前

言及箇所		ページ 番号	キーワード	ご意見要旨	発言/記述 委員	意見 区分
全体		—	「おもてなしの心」の取り扱い	松山市は観光施設があり、「おもてなしの心」のある所である。以前尾道へ行った時、道を行く高校生がみんな挨拶をしてくれ、地元の「おもてなしの心」や教育により素直な人柄が形成されていると感じた。県外の観光客がまた来てみたい、リピートしたいまちづくりを目指したい。	溝垣委員	追加
		—	大都市の負の側面も踏まえた計画策定	合併による50万都市の今後は、ここに描かれている発展的な側面もあるが、同時に地方自治の本旨が末端まで届きにくく、さらなる人口減少や活力低下につながる可能性もある。課題にしっかりと目を向けて、格差のない松山市づくりを目指す必要があると思います。	宮内委員	追加
		—	表現の統一	30行目 四国最大の都市である・・・とあるが、11P以外にも(四国の中枢的7P)(四国の拠点都市13P)といった表現がある。表現を統一するか、表現を大きくした方(四国一)等がよい。また、度々使うと逆にインパクトが薄れる。	高市委員	事前
I.策定にあたって	1.計画策定の趣旨	1	『坂の上の雲』をめざしたまちづくりの総括	第5次総計は「『坂の上の雲』をめざして」を基本理念としてきたが、短い言葉でもよいので、総括として、到達点と残された課題が書かれているとよいのではないかと。	甲斐委員	審議会
		1	表現の修正	「訪れてみたい、住んでみたい」は表現が遠回しであるため、「訪れたい、住みたい」に書き直した方がよい。	高市委員	事前
	2.計画の構成と期間	1	総合計画の構成を表すイメージ図	総合計画の構成をイメージ図で表現するとわかりやすいのではないかと。	畔地委員	事前

言及箇所		ページ 番号	キーワード	ご意見要旨	発言/記述 委員	意見 区分
I. 策定にあ たって	3. 人口等の 見通し	2	分析の追加	人口は3区分のみでなく、人口ピラミッドで表すと特徴が読 め、歴史的変化も含めて現状と課題が見えてくる。 また、地区別の少子高齢化について分析してみる。中 心部の少子高齢化、ドーナツ化現象のみられる地区、山間 や離島などの特色が鮮明になり、どのような計画が求めら れるかが予測できる。 社会資源の分布格差なども押さえると、社会保障制度の見 直しなども具体的になる。	宮内委員	追加
				「人口の見通し」のグラフは、これだけでは何が問題なの かがわかりづらいので、高齢者の割合が高くなると何が問題 なのかなど、もう少しデータがあったほうがよい。	堀田委員	審議会
	4. 松山市の 地域特性	3	事実誤認	(3)に「日本初の軽便鉄道」とあるが、おそらく2番目だと思 う。	門田委員	審議会
II. 基本構想	1. 時代の潮 流	5	文言修正	「時代の潮流」の「潮流」を「流れ」に変えた方がよい。全 体の文章を読むと、「流れ」の方が合っている。	高市委員	事前
		5~7	松山市の課題の記載	松山市の実態や課題を明確に示してはどうか。	宮内委員	追加
				全国的に見れば内容は間違っていないが、松山市が取 り組まなければならない課題に対してこのような潮流がある ということを書くべきで、もう少し地域に特化した情報を入れ てはどうか。	甲斐委員	審議会

言及箇所		ページ 番号	キーワード	ご意見要旨	発言/記述 委員	意見 区分
II. 基本構想	1.時代の潮流	3,5	「雇用」の側面の追加	<ul style="list-style-type: none"> ・「時代の潮流」に書かれている少子高齢化の影響は、福祉的な側面の扱いが大きいですが、少子高齢化は経済活動に直結するものであり、産業界にどのような影響を与えるのかという緊迫感のある表現が欲しい。中小企業にとっては人材確保が切実であり、「松山市の地域特性」の人づくりに関するところで、教育と雇用を明確に打ち出せないか。 ・誰もが「働きがい」をもって働けるという視点を盛り込めないか。 	堀田委員	審議会
	2.これからのまちづくりに向けて	7	段落の入れ替え	最後の3行の「また、笑顔に～目指します」は重要な文章であり、この「これからのまちづくりに向けて」の文章の1番初めに持ってきた方が分かりやすい。	高市委員	事前

言及箇所		ページ 番号	キーワード	ご意見要旨	発言/記述 委員	意見 区分	
II. 基本構想	3.基本構想 の体系	8	分野横断的な視点を 含める。	体系図は縦につった形になっているが、これを横に串刺し にするようなイメージが必要。	吉田副会長	審議会	
				市民から見れば、行政は縦割りという思いがまだ強いので、 総合計画をつくる時には、松山市は横断的に、市民全てのやりがい や幸せを考えた計画をつくっているという姿勢を見せることができ れば、価値がある。	吉田副会長	審議会	
	4.将来都市 像とまちづくりの 基本理念	9～10	キーワード設定とそれ に対応した施策体系	「支え合い」、「繋がり合い」、「互いに尊重し合う」というキ ーワードを前面に打ち出して、それに見合った施策体系をつ くるとよいのではないか。	甲斐委員	審議会	
				前提となる考え方の提 案	コンパクトながら、人が住んでみたい、訪れてみたい四国最 大の拠点観光都市 を目指す。	磯村委員	
				「機会の平等」の打ち 出し	「夢や理想を抱き、挑戦し続けるまちを目指す」は、言い換 えれば「誰もがチャンスを与えられるまち」である。「機会の 平等」といったことを打ち出せれば、非常に新しいし、坂の 上の雲の精神に見合ったものになる。	甲斐委員	審議会
				9～10	ワクワクドキドキ感	読む人がワクワクドキドキするような要素も必要	三浦委員
「計画策定の趣旨」には「夢や目標に向かって明るくひたむ きに」とあるが、後にそれらが記されていない。ワクワク感が ない。	高市委員	事前 審議会					

言及箇所		ページ 番号	キーワード	ご意見要旨	発言/記述 委員	意見 区分
II. 基本構想	4.(1)将来都市像	9	将来都市像の表現	<p>・「人が集い 笑顔広がる 幸せ実感都市 まつやま」と並んだときの、「人が集い」という言葉のメッセージ性が非常に弱いのが気になります。「笑顔広がる」の中に「人が集う」が吸収されてしまっているように思います。外から人がたくさん来るというイメージであれば、そのような意味合いの迫力が弱いのではないのでしょうか。</p> <p>・「笑顔つながる 幸せ実感都市 まつやま」ではどうか。</p>	三浦委員	審議会 追加
				<p>フレーズとしてわかりにくいと思いました。「笑顔になるような」というその根源の部分をアピールするようなフレーズとして出したほうが、市民にはわかりやすいのではないのでしょうか。</p>	重川委員	審議会
				<p>「人が集い 笑顔広がる 幸せ実感都市 まつやま」を「笑顔広がる 幸せいっぱい まつやま」に変えた方が、子供にも分かりやすく、イメージがわかりやすい。</p>	高市委員	事前
				<p>10行目の「にぎわい」を「賑わい」に変えた方がよい。</p>	高市委員	事前

言及箇所		ページ 番号	キーワード	ご意見要旨	発言/記述 委員	意見 区分
II. 基本構想	4.(2)まちづくりの基本理念	10	基本理念の見直し	<p>縦割りのなものに対して、横断的なものがなければならず、また、また、縦割的な基本目標を常にチェックし、その結果を施策に反映させる視点も必要である。それがおそらく、まちづくりの理念であり、そのような点で、まちづくりの理念の位置づけをもう少し明確にする必要があるのではないかと。</p> <p>理念の内容が、その役割にふさわしい具体性に欠けている。「まちの姿勢」、「世代をつなぐ」、「世界とつながる」を主題として、素案にある理念に代えて、以下の3項目を私案として提案する。</p> <p>「夢や理想を抱き、挑戦し続けるまちを目指す」 夢や理想はみんなもっているので、夢や理想に「向けて」としたほうが積極性がある。</p> <p>「生き活きと子どもが育ち、世代が繋がり、支えあうまちを目指す」 事前資料を見ると、子どもへの関心が非常に高く、少子高齢化は非常に重要なキーワードになる。「子どもが生き生きとして育つ」というキーワードに具体性を持たせて、世代が繋がり、支え合うまちを目指す。</p> <p>「世界に繋がる魅力と個性をもったまちを目指す」 「四国の中核都市」と書かれていますが、もっと大きく考えてはどうか。地域分権の中では、地域社会をグローバルな視点で捉え、その中で地域のアイデンティティを明確にし、主張していくことが重要。</p>	鮎川委員	審議会
		10	まちづくりの基本理念に雇用対策を含める	<p>「人が笑顔でいられること」＝「生活の安定と健康と人とのつながり(コミュニケーション)」にある。そのためには、雇用対策も理念の中に含まれるべきではと思います。「四国の中核都市として、持続的に発展するまちを目指す」に含めてはどうか。</p>	溝垣委員	追加

言及箇所		ページ 番号	キーワード	ご意見要旨	発言/記述 委員	意見 区分
II. 基本構想	5.まちづくり の基本目標	11～13	基本目標の順番	①(3)地域の魅力・活力があふれるまち ②(4)健全で豊かな心を育むまち ③それ以外 の順に優先順位が高いのではないか。記載順の変更を検討 願いたい。	吉井委員	事前
	6.笑顔のまち づくりプログ ラム	13	表現の修正	「分野横断的」という表現をわかりやすい表現にしてほし い。横とのつながりをよくすることか？	高市委員	事前